I·O DATA

RHD4-UXR シリーズ

B-MANU201211-02

はじめに お読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は事故を防ぐための重要な注意事項と使用前の準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

箱の中には

※図は実際のものと異なる場合があります。

☐ ハードディスク(1台)

シリアル番号(S/N)は背面に印字してあります。

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて
▼ ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は、本体背面に貼られているシールに「ABCD9876543ZX」のように印字してあります。
●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
●弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

☐ USBケーブル(1本)[約1m]

☐ eSATAケーブル(1本)[約1m]

☐ eSATAブラケット(1個)

☐ 電源ケーブル(1本)
☐ ロックキー(2個)
☑ はじめにお読みください(1枚)[本紙]
☐ インデックスシール(4枚)

対応機種

・HDL-XRシリーズ
※必ずHDL-XRシリーズファームウェアVer.1.01以降をご使用ください。
※eSATAミラーリング用でご使用の場合は、容量にあったものをお使いください。
・HDL-ZWSシリーズ(HDL-Z2WSシリーズ、HDL-Z4WSシリーズ)

ハードウェア仕様

セクタサイズ	512バイト
インターフェイス仕様	USB 2.0、USB 1.1、eSATA
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz
使用温度	温度5～35℃(パソコンの動作する範囲であること)
使用湿度	湿度20～80% (結露なきこと、パソコンの動作する範囲であること)
本体質量	約7.1kg
外形寸法	170(W)×230(D)×183(H)mm

オプション品について

カートリッジを追加購入する際は、以下のオプション品をお買い求めください。

◆交換用カートリッジの種類

品名	容量
RHD-1.0T	1.0TB
RHD-1.5T	1.5TB
RHD-2.0L	2.0TB

※容量の大きいカートリッジに交換した場合、自動的に小さい容量に調整されます。

◆交換用カートリッジについて

カートリッジを交換する際は、お使いの製品の交換用カートリッジをお選びください。

	RAID1+0(ミラーストライピング)時のディスクセット交換用	カートリッジ故障時の交換用
RHD4-UX4.0R	「RHD-1.0T」が2台	「RHD-1.0T」
RHD4-UX6.0R	「RHD-1.5T」が2台	「RHD-1.5T」
RHD4-UX8.0R	「RHD-2.0T」が2台	「RHD-2.0T」

データのバックアップについて

万一に備えて大切なデータは、別のカートリッジなどに保管、バックアップすることをおすすめします。

本製品のフォーマット作業について

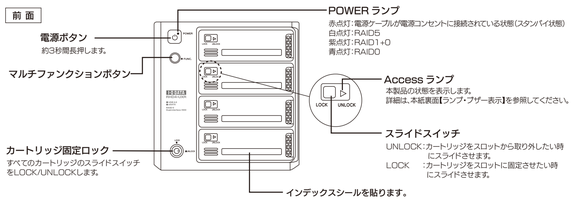
本製品は出荷時、HDL-XRシリーズ専用フォーマット済みです。

●HDL-XRシリーズに接続する場合
そのまま使用することができます。
再フォーマットするときは、右記「本製品とHDL-XRシリーズを接続する場合」-「再フォーマット手順」を参照してください。

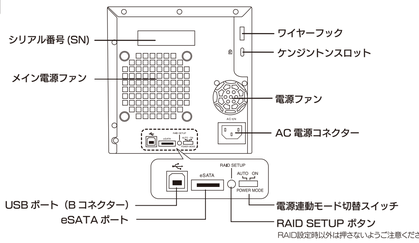
●HDL-ZWSシリーズに接続する場合
必ずフォーマットが必要となります。フォーマットするときは、右記「本製品とHDL-ZWSシリーズを接続する場合」-「フォーマット手順」を参照してください。

各部の名称・機能

前面



背面



電源連動機能について

本製品には、接続した機器に連動して電源をON/OFFにできる「電源連動機能」があります。
接続した状態で、接続先の機器の電源を入れれば本製品の電源がONとなり、接続先の機器の電源を切れば本製品の電源がOFFとなる機能です。「電源連動機能」を使用すれば、電源ON/OFFを切り替える必要がなくなります。

設定方法

設定は本製品背面の電源連動モード切替スイッチを「AUTO」に設定すれば、「電源連動機能」が有効になります。
※出荷時設定は「ON」です。

❶ 本製品を、接続している機器から取り外します
❷ 本製品の電源を切ります。
(電源ボタンを約3秒間長押しします。)
❸ 電源連動モード切替スイッチを「AUTO」に設定します。
※先の細いもので行ってください。

使い方

本製品を接続先機器に接続するだけで、接続先機器に連動します。

● 接続先機器の電源を入れる → 本製品の電源が入ります。
● 接続先機器の電源を切る → 本製品の電源が切れます。
※電源が切れないときは、電源ボタンで切ってください。

電源連動モード切替スイッチを「ON」に設定して使う場合

本製品の起動、取り外しは、以下の手順で行ってください。

■起動
❶ 本製品の電源をONにして、本製品のアクセスLEDが青に点灯することを確認します。
❷ 接続先機器の電源をONにします。

■取り外し
❶ 接続先機器の電源をOFFにして、シャットダウンを確認します。(接続先機器のアクセスLEDが消灯します。)
❷ 本製品の電源をOFFにします。

ランプ・ブザー表示

本製品は、ランプの表示状態(点灯・消灯・点滅)、ブザーの組み合わせにより、現在の動作状態を表示します。

状態	RAID モード	ブザー	POWER ランプ	ACCESS ランプ HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	備考
スタンバイ			赤点灯	消灯				
スピンアップ		ピッ	赤点灯	青点滅				
RAID 設定	ミラーストライピングモード RAID1+0	ピッ	紫点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	ストライピングモード RAID0	ピッ	青点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	RAID5	ピッ	白点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
通常			各モードに合わせて点灯	青点灯※アクセス中は高速点滅				
エラー		ピー、ピーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	故障した HDD の LED が赤色点灯				対処1 正常HDDは青色点灯
リビルド設定(HDD3 交換の場合)			各モードに合わせて点灯	青点灯	青点灯	紫点滅	青点灯	リビルド先候補として認識された状態
リビルド中		ピピピ(リビルド開始時)	各モードに合わせて点灯	青点滅	青点滅	青と紫点滅	青点滅	HDD3リビルド中
RAID 崩壊		ピーポー、ピーポーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	赤点滅				対処2

※ブザーはマルチファンクションボタンを押せば止まります。

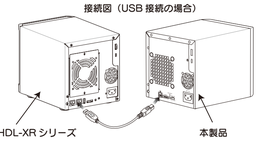
対処1 故障 HDD を交換してください。

対処2 一度、電源を切り再度電源を入れてみて、状況に変化がないか確認してください。
変化が無ければ、RAID 状況が異常となっておりますので再設定を行ってください。
(再設定を行いますと内部のデータは全て削除されます)

本製品とHDL-XRシリーズを接続する場合

ご注意 HDL-XRシリーズに接続する際は、必ずHDL-XRシリーズのファームウェアをVer.1.01以降にアップデートしてください。

本製品はHDL-XRシリーズ用にフォーマット済みです。
HDL-XRシリーズに「接続し、必要な設定をすることで使用可能です。



再フォーマット手順

❶ HDL-XRシリーズ、本製品の電源が入っていることを確認します。
❷ HDL-XRシリーズのUSBポート2と本製品のUSBポートをUSBケーブルで接続します。
❸ HDL-XRシリーズの「STATUS」ランプが点滅します。ブザーがピッと鳴り、「STATUS」ランプが点灯するまでお待ちください。
❹ HDL-XRシリーズの設定画面を開きます。(設定画面の開き方は、HDL-XRシリーズのマニュアルをご覧ください。)
❺ [詳細設定]から、[ディスク設定]→[ボリューム操作]をクリックします。
❻ USBボリューム2欄の「フォーマット(専用)」を選択後、[実行]ボタンをクリックします。
❼ 記載内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。
❽ 結果の画面が表示されるまでお待ちください。

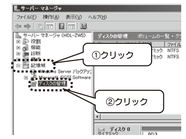
参考 フォーマット時間の目安
RHD4-UX8.0R(RAID5 モード)の場合で、約 5 時間です。

本製品とHDL-ZWSシリーズを接続する場合

本製品をHDL-ZWSシリーズに接続して使用する場合は、本製品をフォーマットすることで使用可能です。

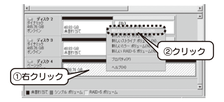
フォーマット手順

❶ HDL-ZWSシリーズと本製品の電源が入っていることを確認します。
❷ HDL-ZWSシリーズと本製品を添付のUSBケーブルまたはeSATAケーブルで接続します。
❸ [スタート]→[管理ツール]→[サーバーマネージャ]をクリックします。
❹ [記憶域]→[ディスクの管理]をクリックします。

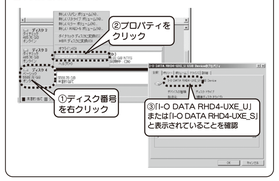


右の画面が表示された場合は、「GPT(GUID パーティションテーブル)」にチェックして「OK」ボタンをクリックしてください。

❺ [ディスクの管理]の画面より、本製品の領域を右クリックし、「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
以降は画面の指示にしたがってすすめてください。



■本製品を見分けるには



運用上の注意

●本製品のRAID5およびRAID1+0機能使用時の注意事項

本製品は、RAID5およびRAID1+0により、ハードディスクの故障などの物理的なデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。

RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。

RAIDモードの設定

RAIDとは複数のハードディスクを束ねることにより アクセス速度を速くしたり、冗長性を持たせて物理的な故障から大事なデータを保護する為の技術です。
本製品をパソコンに接続する前に、どのモードを設定するか決めてください。

RAIDモードについて

◆分散パリティモード(RAID5)※出荷時設定
※出荷時は、RAID5 モードに設定してありますのでそのままお使いいただけます。
内蔵する4台のハードディスクを1つのドライブとして認識し、パリティデータとともに分散記録します。ハードディスク1台が故障に対応するデータ保護機能、容量、高速性のバランスのよいモードです。

◆ミラー・ストライピングモード(RAID1+0)
2組のミラーリングペアを形成し、それらをストライピングで1つのドライブとして認識します。
最大ハードディスク2台の故障に対応する、データ保護機能が優も高いモードです。

◆ストライピングモード(RAID0)
4台のハードディスクに同時に分散書き込みすることで、4台分の容量を1台として認識します。大容量のハードディスクとして使いたい場合に最適です。
ただし、冗長性はなくなりますので、1台故障した場合にも、すべてのデータが破損します。

参考 各モードでの使用可能ハードディスク容量

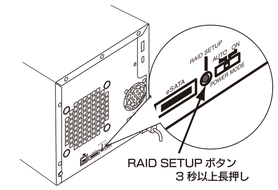
	RHD4-UX4.0R	RHD4-UX6.0R	RHD4-UX8.0R
RAID5 モード	3.0TB	4.5TB	6.0TB
RAID1+0 モード	2.0TB	3.0TB	4.0TB
RAID0 モード	4.0TB	6.0TB	8.0TB

RAIDモードの設定方法

ご注意 RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。
RAIDモードを変更した場合は、再フォーマットする必要があります。

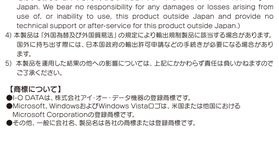
※以下の手順は、本製品の電源が入った状態で行います。

❶ 接続先機器に接続している場合は、接続先機器から本製品を取り外し、ケーブル類をすべて外してください。
❷ 背面にある[RAID SETUP]ボタンを、3秒以上長押しします。
→POWERランプが点滅し、設定モードになります。
※先の細いもので行ってください。



ご注意 RAID SETUPボタンを誤って押さないように注意してください。誤って押した場合は、他のボタンを押さずに、電源ボタンを3秒以上押してください。RAID設定モードはキャンセルされ、POWERランプが点滅から点灯(赤色)に変わり、起動(スピンアップ)状態になります。

❸ 前面のファンクションボタンを押してRAIDモードを選択します。
POWERランプ(点滅)の色が、ファンクションボタンを押すごとに変わります。
白色:RAID5
紫色:ミラーストライピングモード(RAID1+0)
青色:ストライピングモード(RAID0)



❹ 再度[RAID SETUP]ボタンを長押し(3秒以上)します。
以上でRAIDモード設定は終了です。

故障ハードディスクの交換(新規ハードディスクと交換)

本製品には4つのカートリッジ(ハードディスク)が入っています。
カートリッジが故障した場合の交換手順を説明します。新規に購入、または他のハードディスクと交換する手順も同様です。

ハードディスクを挿入する・取り出す場合は以下にご注意ください。
●交換用ハードディスクは、弊社製RHDシリーズをご使用ください。
また、故障したハードディスクと同じ容量のものをご使用ください。
(RHD4-UX8.0Rの場合は、RHD-2.0Lを使用します。)

RAID5、RAID1+0で使用している場合

RAID5、RAID1+0の設定でご使用の場合、ハードディスクが故障しても元の状態にリビルド(復旧)することができます。
故障したハードディスクは、カートリッジのACCESSランプが赤色に点灯します。下記の手順にてリビルド(復旧)を行います。

❶ 故障しているハードディスクをカートリッジのACCESSランプで確認します。
❷ 故障したハードディスクを、新しいRHDカートリッジディスクに交換します。
※交換方法は、右記[ハードディスク(カートリッジ)の交換方法]を参照。

ご注意 正常なハードディスクは抜かないでください。

❸ リビルド先として認識すると、ACCESSランプが紫色に点滅します。
マルチファンクションボタンを3秒以上長押しします。
→「ピピピ」となってリビルドが開始します。
※リビルド中は、POWERランプが各RAIDモード色に点灯し、修復中のカートリッジのACCESSランプが青色と紫色に交互に点滅します。

リビルドが完了する時間は、ハードディスクのサイズにより異なります。おおよその目安は、以下の通りです。

型名	1 台のディスク容量	リビルド時間(RAID5 の場合)
RHD4-UX4.0R	1.0TB	約 3 時間 15 分
RHD4-UX6.0R	1.5TB	約 5 時間 10 分
RHD4-UX8.0R	2.0TB	約 7 時間 30 分

※接続しない状態(オフラインソリビルド)でのリビルド時間

❹ カートリッジのACCESSランプが青色に点灯したらリビルド完了です。

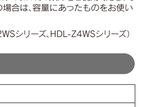
ストライピングモード(RAID0)で使用している場合

❶ 故障しているハードディスクを、ご購入時にお買い上げいただいた販売店、または弊社テクニカルサポートセンターへ送付ください。

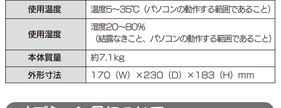
ハードディスク(カートリッジ)の交換方法

※ハードディスク(カートリッジ)の交換は、電源が入っている状態で行います。本製品の電源が、入っていることをご確認ください。

❶ 添付のロックキーで LOCK を時計周りにまわして、[UNLOCK](ロックを解除)にします。

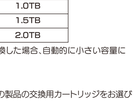


❷ 取り外すカートリッジの[スライドスイッチ]を右に移動します。
→カートリッジの ACCESS ランプが点滅から消灯するまでお待ちください。



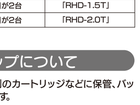
ご注意
●POWERランプが赤点滅、ACCESSランプが青点灯した場合は、取り外せません。
[スライドスイッチ]を再度[LOCK]に戻してください。
●RAIDを再構築中などは取り外せません。再構築が終了するまで待つなど、取り外せる状態になってから取り外してください。
ただし、RAID 0で使用中など取り外せない場合もあります。

❸ カートリッジを取り出します。



ご注意 必ず、ACCESSランプが消灯していることを確認してから、取り外してください。
青点滅中、青点灯中に取り外した場合、カートリッジ内のハードディスクの故障、本製品に保存されたデータの破損、あるいは、本製品の故障の原因となります。

❹ 交換用カートリッジをスロットの奥まで挿入します。



❺ [スライドスイッチ]を左側([LOCK])に移動します。
→カートリッジの ACCESS ランプが青点滅から青点灯するまでお待ちください。

❻ すべてのカートリッジを取り付けた後、添付のロックキーで LOCK を反時計周りに回して、[LOCK]にします。

次に、使用しているモードによって以下を行います。

●RAID5、RAID1+0 で使用している場合
→リビルドを実行します。

●ストライピングモードで使用している場合
→フォーマットを行います。

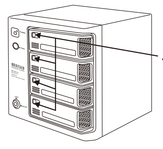
4台とも新規のハードディスクに交換する場合

4 台とも交換した場合は、再度 RAID モードの設定が必要です。
表面の「RAID モードの設定方法」を参照して設定を行ってください。

故障ディスクの見分け方

本体のランプ表示で見分ける(RAID5、RAID1+0の場合)

前面のACCESSランプでハードディスクの状態を監視することができます。ハードディスクが故障した場合は、カートリッジのACCESSランプが赤点滅します。



ご注意
いかなる場合におきましても弊社では RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。
●本製品のRAID構成されているハードディスクカートリッジは、障害発生時以外には取り外さないでください。
不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊して全てのデータを失う危険性があります。
●障害発生したカートリッジを取り外す場合は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。ただし、該当カートリッジの[ACCESS]ランプが消灯していることを確認した上で取り外してください。
●誤って障害発生したディスク以外のカートリッジを取り外した場合、RAID 構成が崩壊し、修復不能の状態となります。
●カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず1台ずつ、説明通り行ってください。
●[ACCESS]ランプ点滅中に[スライドスイッチ]は操作しないでください。
●新しいカートリッジに交換される場合にも、本製品の電源が入っている状態で取り付けることができます。
●交換時には、カートリッジ前面の[ACCESS]ランプの点灯状況を確認し、間違いのないよう十分ご注意をお願いします。

ランプ・ブザー表示

本製品は、ランプの表示状態(点灯・消灯・点滅)、ブザーの組み合わせにより、現在の動作状態を表示します。

状態	RAID モード	ブザー	POWER ランプ	ACCESS ランプ HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	備考
スタンバイ			赤点灯	消灯				
スピンアップ		ピッ	赤点灯	青点滅				
RAID 設定	ミラーストライピングモード RAID1+0	ピッ	紫点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	ストライピングモード RAID0	ピッ	青点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	RAID5	ピッ	白点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
通常			各モードに合わせて点灯	青点灯※アクセス中は高速点滅				
エラー		ピー、ピーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	故障した HDD の LED が赤色点灯				対処1 正常HDDは青色点灯
リビルド設定(HDD3 交換の場合)			各モードに合わせて点灯	青点灯	青点灯	紫点滅	青点灯	リビルド先候補として認識された状態
リビルド中		ピピピ(リビルド開始時)	各モードに合わせて点灯	青点滅	青点滅	青と紫点滅	青点滅	HDD3リビルド中
RAID 崩壊		ピーポー、ピーポーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	赤点滅				対処2

※ブザーはマルチファンクションボタンを押せば止まります。

対処1 故障 HDD を交換してください。

対処2 一度、電源を切り再度電源を入れてみて、状況に変化がないか確認してください。
変化が無ければ、RAID 状況が異常となっておりますので再設定を行ってください。
(再設定を行いますと内部のデータは全て削除されます)

安全のために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

〈警告表示〉

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

〈絵記号の意味〉

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
❗ この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠ 警告

⃠ **本製品を修理・改造・分解しない。**
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

❗ **煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止し、電源を切って電源プラグを抜く。**
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⃠ **本体を濡らさない。**
火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

電源(ケーブル・プラグ)について

⃠ 発熱、火災、感電の原因となりますので以下をお守りください。

●**接続ケーブルは、添付品または指定品以外を使用しない。**
ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

●**AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しない。**

●**ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などをしない。**

●**ゆるいコンセントに接続しない。**
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。

●**電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない。**
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

●**接続ケーブルは、他の機器に接続しない。**

●**じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない。**

使用上のご注意

**本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。
また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。**

バックアップとは
ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(ハードディスク、やBD・DVDメディアなど)にデータの複製を作成することをいいます。
外付けハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

●**本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
〈使用時/保管時の制限〉
●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒーターなど)
●強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など) ●水気の多い場所(台所、浴室など)
●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中(Cl2、H2S、NH3、SO2、NOxなど) ●静電気の影響の強い場所
〈使用時のみの制限〉
●保温、保湿性の高いものの近く(じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど)●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

●**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上にみなどの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●**アクセスランプ点灯/点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。**
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

●**本体内部に液体、金属、ほこりの煙などの異物が入らないようにしてください。**

●**本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。**
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジンやアルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

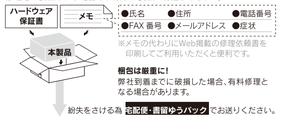
それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話:東京 03-3254-1095 金沢 076-260-3688
FAX:東京 03-3254-9055 金沢 076-260-3360
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日をのぞく)
インターネット:http://www.iodata.jp/support/

< ご用意いただく情報 > 製品名 / パソコンの型番 / OS

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **記配・書留 ゆうパック** でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●内部データは厳密な検査のため、消去されます。(何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

譲渡・廃棄の際の注意

●**データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。**
本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。

●情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
弊社では完全データ消去ソフト「DiskRefresher 3」を販売いたしております。

ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙機器などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は(外国為替及び外国貿易法)の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国及び政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、米国または他国における Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/

2010.07.20

Copyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.

I·O DATA

RHD4-UXR シリーズ

B-MANU201211-02

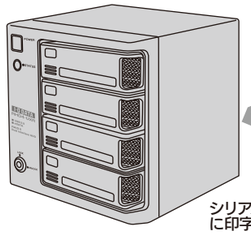
はじめに お読みください

お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は事故を防ぐための重要な注意事項と使用前の準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

箱の中には

※図は実際のものと異なる場合があります。

☐ ハードディスク（1台）



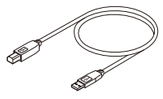
シリアル番号(S/N)は背面に印字してあります。

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

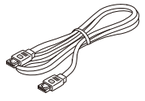
▼ ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

シリアル番号（S/N）は、本体背面に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。
●シリアル番号（S/N）は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
●弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

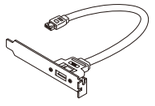
☐ USBケーブル（1本）［約1m］



☐ eSATAケーブル（1本）［約1m］



☐ eSATAブラケット（1個）



☐ 電源ケーブル（1本）
☐ ロックキー（2個）
☑ はじめにお読みください（1枚）［本紙］
☐ インデックスシール（4枚）

対応機種

・**HDL-XRシリーズ**
※必ずHDL-XRシリーズファームウェアVer.1.01以降をご使用ください。
※eSATAミラーリング用でご使用の場合は、容量にあったものをお使いください。

・**HDL-ZWSシリーズ**（HDL-Z2WSシリーズ、HDL-Z4WSシリーズ）

ハードウェア仕様

セクタサイズ	512バイト
インターフェイス仕様	USB 2.0、USB 1.1、eSATA
電源仕様	AC100V±10%　50/60Hz
使用温度	温度5～35℃（パソコンの動作する範囲であること）
使用湿度	湿度20～80% （結露なきこと、パソコンの動作する範囲であること）
本体質量	約7.1kg
外形寸法	170（W）×230（D）×183（H）mm

オプション品について

カートリッジを追加購入する際は、以下のオプション品をお買い求めください。

◆交換用カートリッジの種類

品名	容量
RHD-1.0T	1.0TB
RHD-1.5T	1.5TB
RHD-2.0L	2.0TB

※容量の大きいカートリッジに交換した場合、自動的に小さい容量に調整されます。

◆交換用カートリッジについて

カートリッジを交換する際は、お使いの製品の交換用カートリッジをお選びください。

	RAID1+0（ミラーストライピング）時のディスクセット交換用	カートリッジ故障時の交換用
RHD4-UX4.0R	「RHD-1.0T」が2台	「RHD-1.0T」
RHD4-UX6.0R	「RHD-1.5T」が2台	「RHD-1.5T」
RHD4-UX8.0R	「RHD-2.0T」が2台	「RHD-2.0T」

データのバックアップについて

万一に備えて大切なデータは、別のカートリッジなどに保管、バックアップすることをおすすめします。

本製品のフォーマット作業について

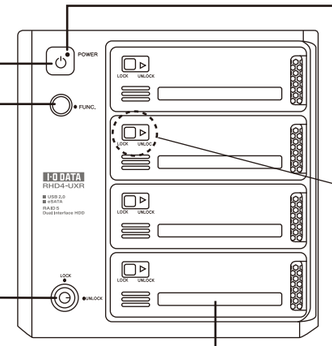
本製品は出荷時、HDL-XRシリーズ専用フォーマット済みです。

●HDL-XRシリーズに接続する場合
そのまま使用することができます。
再フォーマットするときは、右記「本製品とHDL-XRシリーズを接続する場合」-「再フォーマット手順」を参照してください。

●HDL-ZWSシリーズに接続する場合
必ずフォーマットが必要となります。フォーマットするときは、右記「本製品とHDL-ZWSシリーズを接続する場合」-「フォーマット手順」を参照してください。

各部の名称・機能

前面

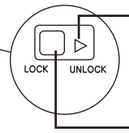


電源ボタン
約3秒間長押します。

マルチファンクションボタン

カートリッジ固定ロック
すべてのカートリッジのスライドスイッチをLOCK/UNLOCKします。

POWER ランプ
赤点灯：電源ケーブルが電源コンセントに接続されている状態（スタンバイ状態）
白点灯：RAID5
紫点灯：RAID1+0
青点灯：RAID0

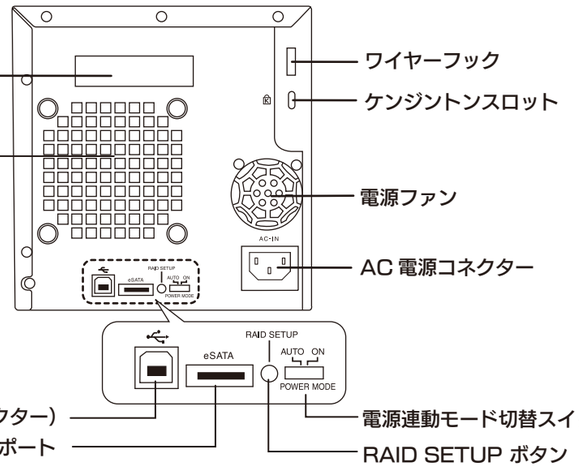


Access ランプ
本製品の状態を表示します。
詳細は、本紙裏面【ランプ・ブザー表示】を参照してください。

スライドスイッチ
UNLOCK：カートリッジをスロットから取り外したい時にスライドさせます。
LOCK　：カートリッジをスロットに固定させたい時にスライドさせます。

インデックスシールを貼ります。

背面



シリアル番号（SN）

メイン電源ファン

ワイヤーフック

ケンジントンスロット

電源ファン

AC 電源コネクター

USB ポート（B コネクター）

eSATA ポート

電源連動モード切替スイッチ

RAID SETUP ボタン
RAID設定時以外は押さないようご注意ください。

電源連動機能について

本製品には、接続した機器に連動して電源をON/OFFにできる「電源連動機能」があります。
接続した状態で、接続先の機器の電源を入れれば本製品の電源がONとなり、接続先の機器の電源を切れば本製品の電源がOFFとなる機能です。「電源連動機能」を使用すれば、電源ON/OFFを切り替える必要がなくなります。

設定方法

設定は本製品背面の電源連動モード切替スイッチを「AUTO」に設定すれば、「電源連動機能」が有効になります。
※出荷時設定は［ON］です。

❶ 本製品を、接続している機器から取り外します

❷ 本製品の電源を切ります。
（電源ボタンを約3秒間長押しします。）

❷ 電源連動モード切替スイッチを「AUTO」に設定します。
※先の細いもので行ってください。

電源連動モード切替スイッチ

使い方

本製品を接続先機器に接続するだけで、接続先機器に連動します。

● 接続先機器の電源を入れる → 本製品の電源が入ります。
● 接続先機器の電源を切る → 本製品の電源が切れます。
※電源が切れないときは、電源ボタンで切ってください。

電源連動モード切替スイッチを「ON」に設定して使う場合

本製品の起動、取り外しは、以下の手順で行ってください。

■起動

❶ 本製品の電源をONにして、本製品のアクセスLEDが青に点灯することを確認します。

❷ 接続先機器の電源をONにします。

■取り外し

❶ 接続先機器の電源をOFFにして、シャットダウンを確認します。（接続先機器のアクセスLEDが消灯します。）

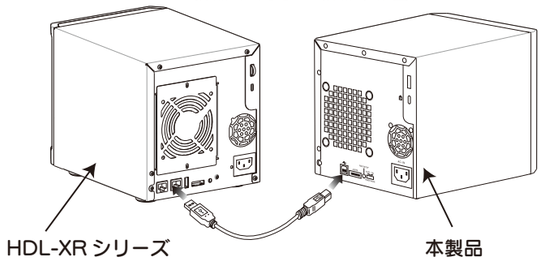
❷ 本製品の電源をOFFにします。

本製品とHDL-XRシリーズを接続する場合

ご注意 HDL-XRシリーズに接続する際は、必ずHDL-XRシリーズのファームウェアをVer.1.01以降にアップデートしてください。

本製品はHDL-XRシリーズ用にフォーマット済みです。
HDL-XRシリーズに接続し、必要な設定をすることで使用可能です。

接続図（USB 接続の場合）



再フォーマット手順

1. HDL-XRシリーズ、本製品の電源が入っていることを確認します。
2. HDL-XRシリーズのUSBポート2と本製品のUSBポートをUSBケーブルで接続します。
3. HDL-XRシリーズの「STATUS」ランプが点滅します。ブザーがピッと鳴り、[STATUS]ランプが点灯するまでお待ちください。
4. HDL-XRシリーズの設定画面を開きます。（設定画面の開き方は、HDL-XRシリーズのマニュアルをご覧ください。）
5. [詳細設定]から、[ディスク設定]→[ボリューム操作]をクリックします。
6. USBボリューム2欄の「フォーマット（専用）」を選択後、[実行]ボタンをクリックします。
7. 記載内容を確認後、[設定する]ボタンをクリックします。
8. 結果の画面が表示されるまでお待ちください。

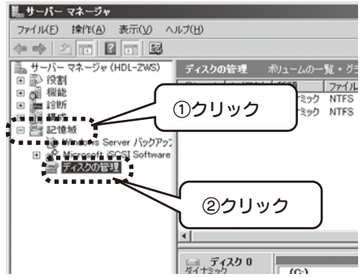
参考 フォーマット時間の目安
RHD4-UX8.0R（RAID5 モード）の場合で、約 5 時間です。

本製品とHDL-ZWSシリーズを接続する場合

本製品をHDL-ZWSシリーズに接続して使用する場合は、
本製品をフォーマットすることで使用可能です。

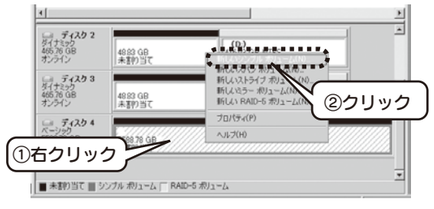
フォーマット手順

1. HDL-ZWSシリーズと本製品の電源が入っていることを確認します。
2. HDL-ZWSシリーズと本製品を添付のUSBケーブルまたはeSATAケーブルで接続します。
3. [スタート]→[管理ツール]→[サーバーマネージャ]をクリックします。
4. [記憶域]→[ディスクの管理]をクリックします。

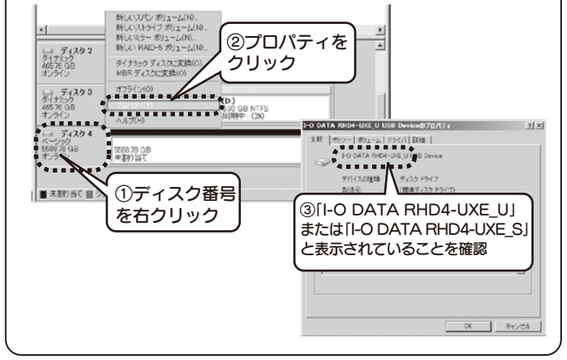


右の画面が表示された場合は、「GPT(GUID パーティションテーブル)」にチェックして [OK] ボタンをクリックしてください。

5. [ディスクの管理]の画面より、本製品の領域を右クリックし、「新しいシンプルボリューム」をクリックします。
以降は画面の指示にしたがってすすめてください。



■本製品を見分けるには



運用上の注意

●本製品のRAID5およびRAID1+0機能使用時の注意事項

本製品は、RAID5およびRAID1+0により、ハードディスクの故障などの物理的なデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。

RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。
RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。

RAIDモードの設定

RAIDとは複数のハードディスクを繋げることにより アクセス速度を速くしたり、冗長性を持たせて物理的な故障から大事なデータを保護する為の技術です。
本製品をパソコンに接続する前に、どのモードを設定するか決めてください。

RAIDモードについて

◆分散パリティモード（RAID5）※出荷時設定
※出荷時は、RAID5 モードに設定してありますのでそのままお使いいただけます。
内蔵する4台のハードディスクを1つのドライブとして認識し、パリティデータとともに分散記録します。ハードディスク1台の故障に対応するデータ保護機能、容量、高速性のバランスのよいモードです。

◆ミラー・ストライピングモード（RAID1+0）
2組のミラーリングペアを形成し、それらをストライピングで1つのドライブとして認識します。
最大ハードディスク2台の故障に対応する、データ保護機能が最も高いモードです。

◆ストライピングモード（RAID0）
4台のハードディスクに同時に分散書き込みすることで、4台分の容量を1台として認識します。大容量のハードディスクとして使いたい場合に最適です。
ただし、冗長性はなくなりますので、1台故障した場合にも、すべてのデータが破損します。

参考 各モードでの使用可能ハードディスク容量

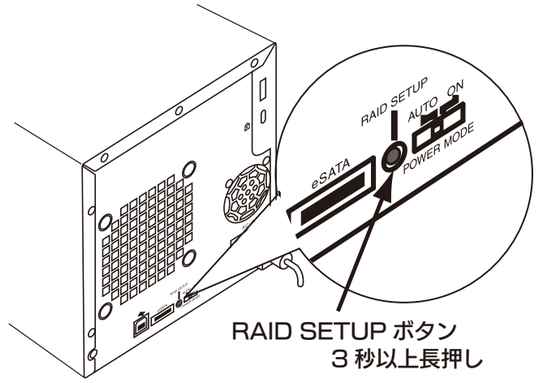
	RHD4-UX4.0R	RHD4-UX6.0R	RHD4-UX8.0R
RAID5 モード	3.0TB	4.5TB	6.0TB
RAID1+0 モード	2.0TB	3.0TB	4.0TB
RAID0 モード	4.0TB	6.0TB	8.0TB

RAIDモードの設定方法

ご注意 RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。
RAIDモードを変更した場合は、再フォーマットする必要があります。

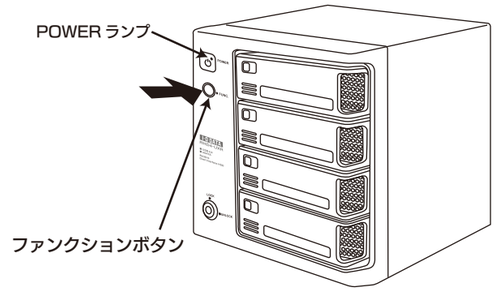
※以下の手順は、本製品の電源が入った状態で行います。

1. 接続先機器に接続している場合は、接続先機器から本製品を取り外し、ケーブル類をすべて外してください。
2. 背面にある[RAID SETUP]ボタンを、3秒以上長押しします。
→POWERランプが点滅し、設定モードになります。
※先の細いもので行ってください。



ご注意 RAID SETUPボタンを誤って押さないように注意してください。誤って押した場合は、他のボタンを押さずに、電源ボタンを3秒以上押してください。RAID設定モードはキャンセルされ、POWERランプが点滅から点灯(赤色)に変わり、起動（スピンアップ）状態になります。

3. 前面のファンクションボタンを押してRAIDモードを選択します。
POWERランプ(点滅)の色が、ファンクションボタンを押すごとに変わります。
白色: RAID5
紫色: ミラーストライピングモード（RAID1+0）
青色: ストライピングモード（RAID0）



4. 再度[RAID SETUP]ボタンを長押し（3秒以上）します。
以上でRAIDモード設定は終了です。

故障ハードディスクの交換（新規ハードディスクと交換）

本製品には4つのカートリッジ（ハードディスク）が入っています。
カートリッジが故障した場合の交換手順を説明します。新規に購入、または他のハードディスクと交換する手順も同様です。

ハードディスクを挿入する・取り出す場合は以下にご注意ください。
●交換用ハードディスクは、弊社製RHDシリーズをご使用ください。
また、故障したハードディスクと同じ容量のものをご使用ください。
(RHD4-UX8.0Rの場合は、RHD-2.0Lを使用します。)

RAID5、RAID1+0で使用している場合

RAID5、RAID1+0の設定でご使用の場合、ハードディスクが故障しても元の状態にリビルド（復旧）することができます。
故障したハードディスクは、カートリッジのACCESSランプが赤色に点灯します。下記の手順にてリビルド(復旧)を行います。

❶ 故障しているハードディスクをカートリッジのACCESSランプで確認します。

❷ 故障したハードディスクを、新しいRHDカートリッジディスクに交換します。
※交換方法は、右記【ハードディスク(カートリッジ)の交換方法】を参照。

ご注意 正常なハードディスクは抜かないでください。

❸ リビルド先として認識すると、ACCESSランプが紫色に点滅します。
マルチファンクションボタンを3秒以上長押しします。
→「ピピピ」となってリビルドが開始します。
※リビルド中は、POWERランプが各RAIDモード色に点灯し、修復中のカートリッジのACCESSランプが青色と紫色に交互に点滅します。

リビルドが完了する時間は、ハードディスクのサイズにより異なります。おおよその目安は、以下の通りです。

型名	1台のディスク容量	リビルド時間（RAID5 の場合）
RHD4-UX4.0R	1.0TB	約３時間 15 分
RHD4-UX6.0R	1.5TB	約５時間 10 分
RHD4-UX8.0R	2.0TB	約７時間 30 分

※接続しない状態（オフラインリビルド）でのリビルド時間

❹ カートリッジのACCESSランプが青色に点灯したらリビルド完了です。

ストライピングモード（RAID0）で使用している場合

❶ 故障しているハードディスクを確認します。

❷ 接続している機器から取り外し、電源を切って、ケーブルを外します。

❸ 故障したハードディスクを、新しいRHDカートリッジディスクに交換します。
※交換方法は、右記【ハードディスクの交換方法】を参照してください。

❹ 電源を入れてハードディスクをフォーマットします。
※データの復旧はできません。
※フォーマット方法は、HDL-XRシリーズの場合、「本製品とHDL-XRシリーズを接続する」-「再フォーマット手順」を参照してください。
HDL-ZWSシリーズの場合、「本製品とHDL-ZWSシリーズを接続する」-「フォーマット手順」を参照してください。

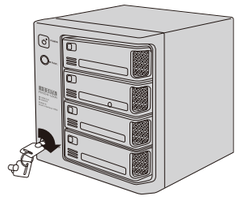
4台とも新規のハードディスクに交換する場合

４台とも交換した場合は、再度 RAID モードの設定が必要です。
表面の「RAID モードの設定方法」を参照して設定を行ってください。

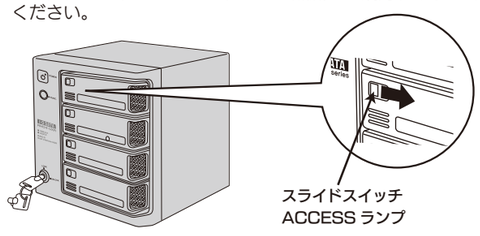
ハードディスク（カートリッジ）の交換方法

※ハードディスク（カートリッジ）の交換は、電源が入っている状態で行います。本製品の電源が、入っていることをご確認ください。

❶ 添付のロックキーでLOCK を時計回りにまわして、［UNLOCK］(ロックを解除) にします。

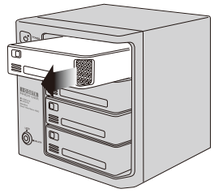


❷ 取り外すカートリッジの［スライドスイッチ］を右に移動します。
→カートリッジの ACCESS ランプが点滅から消灯するまでお待ちください。



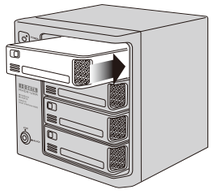
ご注意
●POWERランプが赤点滅、ACCESSランプが青点灯した場合は、取り外せません。
［スライドスイッチ］を再度［LOCK］に戻してください。
●RAIDを再構築中などは取り外せません。再構築が終了するまで待つなど、取り外せる状態になってから取り外してください。
ただし、RAID 0で使用中など取り外せない場合もあります。

❸ カートリッジを取り出します。

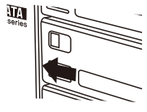


ご注意 必ず、ACCESSランプが消灯していることを確認してから、取り外してください。
青点滅中、青点灯中に取り外した場合、カートリッジ内のハードディスクの故障、本製品に保存されたデータの破損、あるいは、本製品の故障の原因となります。

❹ 交換用カートリッジをスロットの奥まで挿入します。



❺ ［スライドスイッチ］を左側（［LOCK］）に移動します。
→カートリッジの ACCESS ランプが青点滅から青点灯するまでお待ちください。



❻ すべてのカートリッジを取り付けた後、添付のロックキーで LOCK を反時計回りに回して、［LOCK］にします。

次に、使用しているモードによって以下を行います。

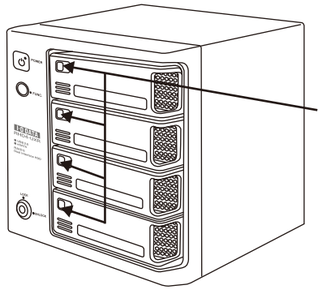
●RAID5、RAID1+0 で使用している場合
→リビルドを実行します。

●ストライピングモードで使用している場合
→フォーマットを行います。

故障ディスクの見分け方

本体のランプ表示で見分ける（RAID5、RAID1+0の場合）

前面のACCESSランプでハードディスクの状態を監視することができます。ハードディスクが故障した場合は、カートリッジのACCESSランプが赤点滅します。



ご注意

いかなる場合におきましても弊社では RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。

●本製品のRAID 構成されているハードディスクカートリッジは、障害発生時以外には取り外さないでください。
不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊して全てのデータを失う危険性があります。

●障害発生したカートリッジを取り外す場合は、本製品の電源が入っている状態で取り外すことができます。ただし、該当カートリッジの［ACCESS］ランプが消灯していることを確認した上で取り外してください。

●誤って障害発生したディスク以外のカートリッジを取り外した場合、RAID 構成が崩壊し、修復不能の状態となります。

●カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず１台ずつ、説明通りに行ってください。

●［ACCESS］ランプ点滅中に［スライドスイッチ］は操作しないでください。

●新しいカートリッジに交換される場合にも、本製品の電源が入っている状態で取り付けることができます。

●交換時には、カートリッジ前面の［ACCESS］ランプの点灯状況を確認し、間違いのないよう十分ご注意をお願いします。

ランプ・ブザー表示

本製品は、ランプの表示状態（点灯・消灯・点滅）、ブザーの組み合わせにより、現在の動作状態を表示します。

状態	RAID モード	ブザー	POWER ランプ	ACCESS ランプ HDD1	HDD2	HDD3	HDD4	備考
スタンバイ			赤点灯	消灯				
スピンアップ		ピッ	赤点灯	青点滅				
RAID 設定	ミラーストライピングモード　RAID1+0	ピッ	紫点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	ストライピングモード RAID0	ピッ	青点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
	RAID5	ピッ	白点滅	消灯	消灯	消灯	消灯	
通常			各モードに合わせて点灯	青点灯※アクセス中は高速点滅				
エラー		ピー、ピーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	故障した HDD の LED が赤色点灯				対処1 正常HDDは青色点灯
リビルド設定 (HDD3 交換の場合)			各モードに合わせて点灯	青点灯	青点灯	紫点滅	青点灯	リビルド先候補として認識された状態
リビルド中		ピピピ（リビルド開始時）	各モードに合わせて点灯	青点滅	青点滅	青と紫点滅	青点滅	HDD3リビルド中
RAID 崩壊		ピーポー、ピーポーと鳴り続ける	各モードに合わせて点灯	赤点滅				対処2

※ブザーはマルチファンクションボタンを押せば止まります。

対処1 故障 HDD を交換してください。

対処2 一度、電源を切り再度電源を入れてみて、状況に変化がないか確認してください。
変化が無ければ、RAID 状況が異常となっておりますので再設定を行ってください。
（再設定を行いますと内部のデータは全て削除されます）

安全のために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

〈警告表示〉

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

〈絵記号の意味〉

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。

❗ この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない。
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止し、電源を切って電源プラグを抜く。
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本体を濡らさない。
火災・感電の原因になります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

電源（ケーブル・プラグ）について

発熱、火災、感電の原因となりますので以下をお守りください。

●接続ケーブルは、添付品または指定品以外を使用しない。
ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

●AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない。

●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などをしない。

●ゆるいコンセントに接続しない。
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。

●電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない。
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

●接続ケーブルは、他の機器に接続しない。

●じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使用しない。

使用上のご注意

**本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。
また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。**

バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスク、やBD・DVDメディアなど）にデータの複製を作成することをいいます。
外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。
万が一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。

●本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
《使用時/保管時の制限》
●振動や衝撃の加わる場所 ●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所 ●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など） ●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所 ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど） ●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》
●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど） ●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

●本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

●アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

●本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

●本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

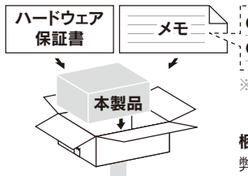
それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話： 東京 **03-3254-1095** 金沢 **076-260-3688**
FAX： 東京 **03-3254-9055** 金沢 **076-260-3360**
※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

< ご用意いただく情報 > 製品名 / パソコンの型番 / OS

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



●氏名 ●住所 ●電話番号
●FAX 番号 ●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に！
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

譲渡・廃棄の際の注意

●データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。

本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性がありえます。

●情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。
弊社では完全データ消去ソフト「DiskRefresher 3」を販売いたしております。

ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaロゴは、米国または他国における Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2010.07.20

Copyright (C) 2010 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.